

報道発表事案について

(1) 障害者差別解消「市全体で」 名古屋市、条例改正方針

- ・ 名古屋城天守閣の木造復元計画のバリアフリー対策を巡り、市民討論会で差別的な発言があったことを受け、名古屋市は15日の市議会財政福祉委員会で、障害者への配慮を進められるよう、障害者差別解消推進条例を改正する方針を示した。
- ・ 3日に開かれた市民討論会では、設置が検討されている垂直昇降設備「電動かご」について、車いす利用の参加者が上層階まで設置を求めた。これに対し、一部の参加者が、我慢を求めた上、差別的な発言もした。
- ・ この問題への市の対応を巡っては、市議会から「分断を招いた」などの批判の声があがっており、健康福祉局は、差別解消に向けた理解促進が不十分だったとし、今後、有識者や当事者らでつくる協議会で改正案を検討する。

(令和5年6月16日 読売新聞オンラインより一部抜粋、

<https://www.yomiuri.co.jp/local/aichi/news/20230615-OYTNT50238/>)

【報道発表後の状況】

「名古屋市障害のある人もない人も共に生きるための障害者差別解消推進条例の一部改正について」令和5年12月6日付で可決。

(2) セブンイレブンが車いすの人に「応募しないで」 パリ SG などの日本ツアーの観戦キャンペーン

- ・ コンビニ最大手セブンイレブン・ジャパン（東京）が6月、海外名門サッカークラブの来日試合の観戦チケットが抽選で当たるとうたい実施したキャンペーンで、車いす利用者らの応募を拒んでいたことが分かった。ウェブサイトにて注意事項として「車椅子ご利用や介助が必要なお客様への対応は行っておりません」と掲載。当事者からの問い合わせに「車いす席がないので応募しないでほしい」と回答していた。
- ・ 国立競技場には約500の、ヤンマースタジアム長居には約340の車いす席が整備されている。セブン&アイ・ホールディングス広報センターは取材に「ジャパンツアー事務局から車いす席が割り当てられず、現地での付き添いなどの対応が難しいことを知らせるために注意事項を掲載した。障害者を差別する意図はなかった。今後は障害者に最大限配慮するよう取り組みたい」と釈明した。
- ・ ジャパンツアー広報事務局は取材に「座席の割り当て権限は当方にあった」とした上で、「スポンサーが実施する観戦チケットキャンペーン用に車いす席を割り当てる必要があるという認識が欠けていた。結果としてキャンペーンから障害者を排除、差別する事態を招いた。深く反省し、おわびする」と非を認めた。

(令和5年7月24日 東京新聞より一部抜粋、

<https://www.tokyo-np.co.jp/article/264951>)